

映画『友よ! 大重潤一郎 魂の旅』を観る会 20年前に体感した 「ユートピア」を、もう一度!

私たちは、阪神・淡路大震災の1995年1月17日、「人間しとって良かった!」
「自分一人では生きていけない」「支え合いは自立から」と五感で感じ取った。
「あの日」から20年、そして東日本大震災から4年。
いま、ここに、この映画が上映されることになったのは、決して偶然ではない!



大重 潤一郎

友よ! 大重潤一郎魂の旅

我発見セリ:
優れたインタビュもまた
スリリングな映画である

構成・編集者 四宮鉄男

四宮 鉄男 Profile

1965年、土本典昭氏に師事し、「留学生チュア・スイ・リン」の製作に参加する。1969年、岩波映画製作所にて、企業PR映画『カラーの眼』を初演出し、以降フリーランスの記録映像構成員として、企業PR映画や政府広報映画、ビデオマガジン『サクセスロード』、ドキュメンタリー作品などの映像製作に携わる。監督や映像作家ではなく「映像職人」或いは「映像よろず引受人」を自称している。1960年代の終わりとろろ岩波映画製作所で大重潤一郎さんと出会う。

ずっと♥つなぐ
基金

映画を見て東北支援 定期上映会
日時 毎月第1金曜日 19時上映(予定)
場所 特定非営利活動法人しみん基金・こうべ事務所
入場料 1000円

友よ！大重潤一郎魂の旅

いま、まじに、ゆっくりと船出した大重潤一郎の魂の旅に、私たちも同道を…友よ！

大重 潤一郎 監督作品より



『光りの島』演出中の大重監督



『風の島』撮影中の大重監督



映画『縄文』より



映画『ビッグマウンテンへの道』より



映画『原郷ニライカナイへ
ー比嘉康雄の魂ー』より

大重 潤一郎 Profile

映画監督・沖縄映像文化研究所所長。山本薩夫監督の助監督見習いを経て、1970年『黒神』にて監督第一作。以降、自然や伝統文化をテーマとし、現在は2002年から12年の歳月をかけ、沖縄県久高島の暮らしと祭祀の記録映画『久高オデッセイ』全三部を制作中。2015年夏完成予定。

【連絡先】

〒651-0095

神戸市中央区旭通 1-1-1-203

TEL 078-230-9774

FAX 078-230-9786

Email kikin@stylebuilt.co.jp

(担当 江口・戸田)

映画『友よ！大重潤一郎 魂の旅』を観る会 代表 村井雅清(被災地 NGO 協働センター) [以下 50 音順 敬称略] 鎌田東二(京都大学このころの未来研究センター教授)、島田誠(ギャラリー島田)、高尾具成(毎日新聞・記者)、坪谷令子(画家)、中島淳(神戸芝居カーニバル実行委員会)、西島陽子、灰谷政之(太陽の子保育園園長)、真喜志好一(建築家・沖縄平和市民連絡会世話人)、松本誠(市民まちづくり研究所)、宮本佳明(建築家・大阪市大教授)、門前喜康(サンテレビジョン・取締役)、米川綾子(兵庫県子ども文化振興協会)、しみん基金 KOBE

長編記録映画

『友よ！大重潤一郎 魂の旅』(2014 年 春 完成 109 分)

構成・編集／四宮 鉄男 撮影／森田 恵子

20 年前の 1995 年、沖縄の無人島を舞台にした映画『光りの島』が誕生した。大重潤一郎は五感で自然と向き合い、生と死の間を彷徨いながら、いのちを描き続け、翌 1996 年には『風の島』を完成させた。そして 2 作品の上映は沖縄と神戸から始まった。

それから 5 年、大重潤一郎は『縄文』『ビッグマウンテンへの道』『原郷ニライカナイへー比嘉康雄の魂ー』を世に出した。この三作に共通するテーマについて大重は、「人類が定住農耕と牧畜を契機に踏み出した制度社会以前の、自然と一体となった営みの原点を気づかせられる」と語る。

「あの日」から 16 年、大地の怒りはおさまらず 2011 年、三陸地方から千葉県沿岸まで大地震と津波が襲い、多くの人、暮らし、自然が破壊された。ある村の長老は、津波を被った光景を見て、「昔はこうだった。この下には田んぼがあったんだ!」と浦や潟が蘇えったかのように表現した。それは縄文の再生ではないのか?

大重潤一郎は、10 年前の脳梗塞の後遺症「視床痛」に耐えながら、肝臓癌の手術を 17 回も受けて来た。この「視床痛」は耐え難い激痛という。「よく痛みに耐えてきた。癌の治療を止めたならやがて死ぬ。でも、もう手術は受けない」「痛いけど笑うことはできるんだよ」と親しい友人に語りかけ、沖縄で『魂の旅』への旅支度を始めた。

私たちは、祈ることしかできないのかもしれない、「生きて!」と。

太古の昔からチベットの源流をを抱きかかえて来た地・スンダランドとサフルランドを『魂の旅』の出発点とし、サツパ船に揺られながらインドネシアや沖縄へ。縄文の風に吹かれて、やがて日本列島全体を登っていく…映画の中で、そんな旅の道筋が、深まる想いとともに語られる。

ずっと ♥ つなぐ
基金

映画を見て東北支援
定期上映会

日 時：毎月第 1 金曜日 19 時上映

場 所：(特活) しみん基金・こうべ事務所

神戸市中央区旭通 1-1-1-203

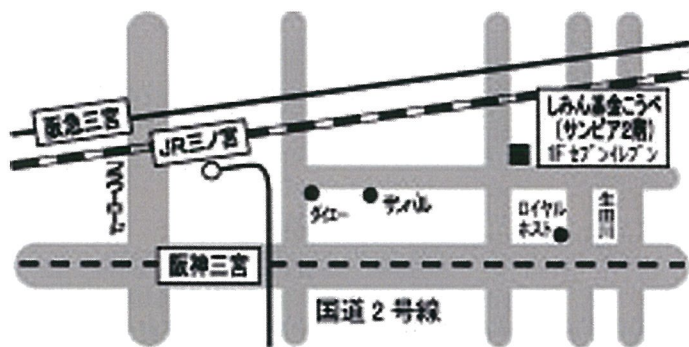
TEL 078-230-9774

入場料：1,000 円

※上映日は変更する場合があります。

必ず事前にしみん基金・こうべまでお問い合わせください。

6 月は
6 月 5 日(金)
19 時より



※セブンイレブンの北隣の階段を上って2階右手の通路すぐ